

家畜ふん堆肥の活用による水稲経営安定に向けて

～令和5年度香取地域水稲現地検討会を開催しました～

香取農業事務所改良普及課 令和5年8月15日発

農業事務所では、8月3日（木）に小見川市民センターいぶき館及び（農）清里ファームの現地試験ほ場で、令和5年度香取地域水稲現地検討会を開催しました。当日は、農家及び関係機関から約40名が参加しました。

本検討会では、家畜ふん堆肥及びペレット堆肥の特徴や水稲栽培における活用方法、各社商品について紹介しました。さらに、実際に鶏ふん堆肥を導入したほ場を視察し、その生育状況を確認しました。

家畜ふん堆肥の活用については、肥料価格の高騰に対する経営安定対策に加え、みどりの食料システム戦略で掲げられている化学肥料使用低減の観点からも取り組みが注目されており、参加者の中でも導入を前向きに検討している生産者が多く、熱心に耳を傾けていました。



室内検討会の様子



現地視察の様子